

PICK UP!!

# お 職員の推し本



## ひげよ、さらば 上・中・下 上野 瞭 / 理論社

記憶喪失の猫・ヨゴロウザが目覚めて最初に出会ったのは、片目の猫。野良犬たちとの縄張り争いに巻き込まれ、ヨゴロウザは猫たちのリーダーになることに。群れで襲ってくる犬たちとの激闘。団結を呼びかけても個人主義の猫たちは言うことを聞かず、ヨゴロウザは自分を見失っていきます。初出は1982年。1984年にNHK人形劇全213話が放映され、人気を博しました。2023年に表紙絵を刷新し、全3巻で新たに出版。舞台化もされました。冒険活劇だった人形劇と違い、原作の内容はかなりシビアです。読後感は重いですが、全1,000pに渡る壮大な『猫たちの叙事詩(バラード)』を味わってみませんか？

## 超訳 戦国武将図鑑

富増 章成 / かんき出版

人生で初めて、大河ドラマを毎週観ています。舞台は戦国時代。ドラマには多くの武将が出てきますが、名前は知っていても、どんな人物なのか、どんな功績をあげたのか分からない…恥ずかしながらそんな武将が多かったので、こちらの本を手にとってみました。超訳と付くタイトルの通り、専門的な難しい表現ではなく、現代的な分かりやすい言葉で、武将の性格や人間関係などの人物像がざっくりと説明されています。現代社会や会社に当てはめたようなゆる〜いイラストも親しみやすく、気楽に読むことができました。戦国初心者の方におすすめの1冊です！



## ある星の汽車

森 洋子 / 福音館書店

広い大地を走る汽車に様々な鳥や動物が乗っています。地球を汽車になぞらえて絶滅動物を描いた絵本ですが、私たち人間も動物たちと同じ乗客であるということを考えさせられます。「わたしのなまえはモーリシャスドードーといいます。どうかおげんきで。」というページを読み、大きなメッセージを受け取ったような気持ちになりました。彼らの正体に気づいた時の衝撃と、何度も何度も読み返したくなる衝動。イギリスの絵本賞を受賞したこともある作者の鉛筆のみで描いた絵も味わい深いです。お子さんと読んで、大人の方が一人で読んで心に残る一冊になると思います。

